

- ★ 4月植えは、中干しの時期に入っています
 ★ 6月11日頃から、早生品種で幼穂形成期となる見込み！

1 君津地域の生育概況

5月下旬は寡照条件で推移したため、「ふさおとめ」「ふさこがね」では平年に比べて草丈は平年並み～やや短い、茎数は少ない傾向にあります。ほ場により茎数にばらつきが見られますが、生育状態を確認し適期に中干しを実施しましょう。

また、4月20日植え「ふさおとめ」で6月11日頃、「ふさこがね」で6月13日頃から幼穂形成期（出穂25日前、幼穂長1mm）になる見込みです。気象庁の2週間気温予報では、今後の気温が「平年並み」と予測されておりますが、ほ場によっては幼穂形成期が見込みよりずれる可能性があります。こまめに幼穂を確認し、今後の管理に生かしましょう。

2 生育調査ほの調査結果※（5月30日）

品種		田植日	葉令 (枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	単葉 葉色
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	R6年	4/21	8.5	37.0	24.8	392	45.2
	平年値	4/19	9.4	38.5	28.0	438	42.5
	平年比	+2	-0.9	96%	89%	89%	106%
ふさこがね (木更津市)	R6年	4/20	8.6	31.0	14.2	217	44.2
	平年値	4/19	8.4	29.0	12.9	249	38.9
	平年比	+1	+0.2	109%	110%	87%	114%
コシヒカリ (君津市)	R6年	4/23	7.8	40.0	22.7	345	45.0
	平年値	4/25	8.1	36.2	21.3	334	40.5
	平年比	-2	-0.3	110%	107%	103%	111%
粒すけ (君津市)	R6年	4/30	7.2	34.0	16.8	234	40.3
	平年値	5/3	7.8	28.3	14.6	236	39.0
	平年比	-3	-0.6	89%	115%	99%	103%

※平年値について、粒すけ、コシヒカリは令和2～5年の平均、ふさおとめは令和3～5年の平均です。ふさこがねは今年度より調査地点を変更しているため、参考値となります。

※調査地点の植付密度の違いから、株当たり茎数と面積当たり茎数の間で平年値との関係が異なる場合がございます。面積当たり茎数を優先して参照ください。

-郵便で配信している方へお願い-

通信費削減のため、「あぜみち」の配信を、郵便から、電子メール又はFAXへの切替えを進めています。変更いただける方は、下記まで御連絡ください。

連絡先 元吉（もとよし）k.mtysh10@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299（電話）

3 これからの管理のポイント

① 「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期（出穂 25 日前・幼穂長 1mm）の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測	穂肥適期の目安
ふさおとめ	4月20日	6月11日頃	幼穂形成期～幼穂形成期から7日後頃
ふさこがね	4月20日	6月13日頃	幼穂形成期から7日後頃

※穂肥の施肥量は窒素と加里を 10a 当たり成分量で各 3kg が目安になります。

※幼穂形成期の 10 日～15 日後までが冷害危険期になります。

各品種とも、幼穂形成期から約 25 日後が出穂期（穂がほ場の半分程度で出てきた状態）となるため、幼穂形成期を知ること、出穂期の目安が分かります。なお、生育期間中の気温等により幼穂形成期から出穂期までの日数は前後します。

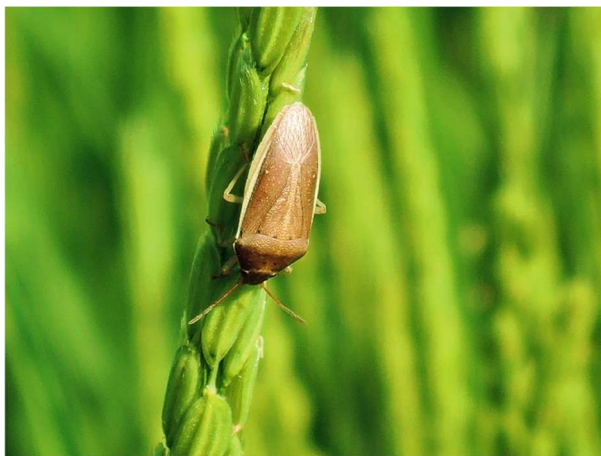
近年問題となっている斑点米カメムシ類や紋枯病等の防除は出穂期を基準に行うことが重要であり、散布適期を知るためにも幼穂形成期を知ることが重要となります。

② これからの水管理について

上記の幼穂形成期の予測日を目安に観察し、幼穂が確認できたら速やかに入水しましょう。また、出穂期 2 週間後までは湛水条件を保つようにしましょう。

③ イネカメムシを見かけたら当所に連絡をお願いします Tel 0438-23-0299

近年、県北を中心に発生しているイネカメムシ（体長 1.3cm、体は楕円形で黄土色）は、斑点米カメムシの一種です。多発生すると斑点米が多くなるだけでなく、不稔やくず米が多くなり減収する被害を及ぼします。君津地域でも、発生が確認されており、斑点米の被害が増加していますので、警戒する必要がある害虫です。



全長 1.3cm 程度。穂に下向きにとまる。



楕円形で、体色は黄土色。

④ 後期除草剤を使用する際の注意点について

とりこぼした雑草や後発雑草に効果を発揮する後期除草剤は、「落水」状態で散布、「湛水」状態で散布する剤がありますので、使用前にラベルをよく確認しましょう。

⑤ （三島ダムの水位低下による濁水への対策として）節水への御理解と御協力を！

5月は定期的な降雨がありましたが、今後の降雨状況によっては濁水となる可能性があります。中干しが始まる時期になりますが、かけ流し防止や漏水防止による節水への御協力を今後もお願いします。

※ 次号は「6月24日頃」発行予定